
Dream

鎮魂歌

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

D r e a m

【Nコード】

N 9 7 1 9 X

【作者名】

鎮魂歌

【あらすじ】

異質な夢を見る高校生、一矢^{かずや}の物語。

下手な文章ですが、よろしくお願いします。

ブローグ

俺は、大きな倉庫の中を走っていた。塩の匂いがする。ということとは、海が近いということか。

たびたび後ろを確認すると、刀を持った人相の悪い男が追いかけてきていた。どうやら暴力団か極道の人間らしい。俺の勝手なイメージだが。

予想通り行き止まりに行き着く。振り返ると、にやけながらゆっくりと歩いてくるのが見えた。獲物を捕らえた獣の目をしていた。刀を持ち上げる。そして、迷うことなく真っ直ぐに突き出した。足に刺さる。痛みが走る。

再び突き出され、腹に刺さる。痛みが増す。

再度突き出され、胸に刺さる。痛みは無い。

その代わり、意識が薄れていった。

目を開くと、カーテンの隙間から光が差し込んでいるのが見えた。紛れも無く朝だった。

ここは当然ながら倉庫ではなく、俺の自室だ。アパートの一室を借りて、一人暮らししている。

カーテンを開いて朝日を浴びる。今日もいい天気だ。……見た夢は嫌なものだったが。

腕にくくりつけておいた携帯電話が震えていた。目覚ましより早く起きたようだった。

携帯を開く。現在午前六時。それを確認すると同時に、メールが来ていたのが目に入った。多分あいつだ。

『おはよう一矢。夢でも見た?』

こいつ、何かテレパシーでもあるんだろうか。前から何度か言い当てられてるから、何度も疑問に思っている。本人は偶然と言い張っているが、後で問い詰めておこう。

『また見た。転校初日から嫌なことだ』

数分後。

『……ごめん。適当に言っただけなんだ』

『気にするな。それにしても何でだろうな。ストレスなんか溜まってないのによ』

『ストレス関係ないじゃん』

『だから厄介なんだ。見たくても見てるわけじゃない』

『分かってる。どうしても耐えきれないようなら、いつでも来ていいから。』

そろそろ準備しなきゃいけないから一旦止めよう。じゃあまた』

気がつけば六時半を既に過ぎていた。慌てることはないが、学校側から早めに来るように言われているから少し急ぐとしよう。

朝飯のパンを食べ歩きつつ、川沿いを歩く。早朝のトレーニングをしている中年男性や自転車に乗って談笑しながら併走する高校生など、いろいろな人間とすれ違った。

この街は人が多い。ひいては、あんな夢を見る回数が増える可能性があるというわけか……。

憂鬱な気分に沈みかけた時、目的地が近づいているのに気づいた。ここが俺の転校先。退屈な日々を送ることになる高校だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9719x/>

Dream

2011年10月27日19時02分発行